

SAPPORO



Creating the Future Sapporo Together

札幌市のまちづくり

第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンについて



札幌の歴史

1 開拓時代 明治時代

明治2年
1869年

開拓使が設置

判官の島義勇は、「他日五州第一の都」として、札幌本府構想を立案。

明治4年
1871年

大通空閑地を設置

官地（北側）・民地（南側）を分ける大通公園の前身。

すでに
はじめていた
札幌のまちづくり！



明治9年
1876年

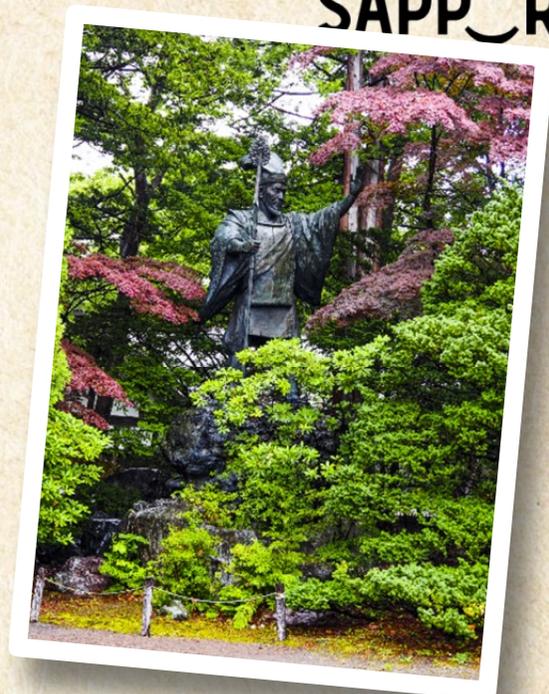
札幌農学校が開学

初代教頭に教育学者クラーク博士が就任(北大の前身)。

同年

官営の麦酒醸造所(国内初)が完成

ビール工場のほか生糸・みそ・しょうゆなどの官営工場が建設。



北海道神宮 島義勇像

重要文化財 旧札幌農学校第二農場牛舎

② 近代 明治～大正～戦後

明治19年
1886年

北海道庁が設置

2年後の明治21年に赤レンガ庁舎が完成。

大正11年
1922年

札幌市制が施行

この後、本格的な都市基盤が整備。

昭和13年
1938年

1940年冬季五輪開催決定

日中戦争の勃発により翌年に開催権を返上。

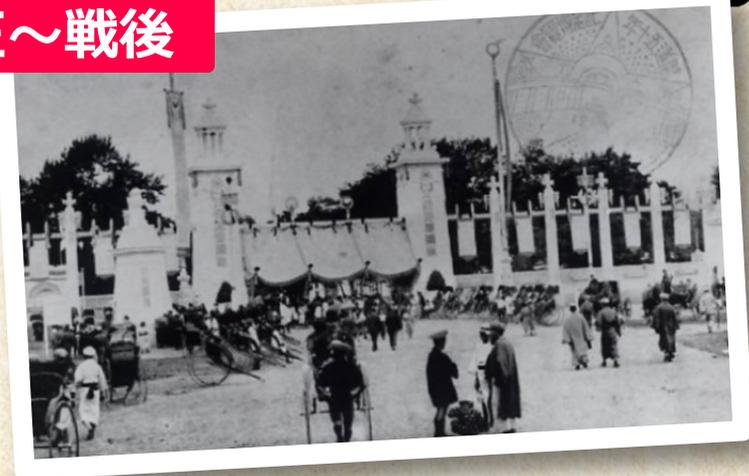
昭和25年
1950年

第1回雪まつりが開催

昭和
30年代～
40年代

合併による拡大

周辺市町村と合併。高度経済成長や道内石炭産業の衰退に伴い、人口流入が加速、昭和40年の人口は82万人。



開道五十年記念北海道博覧会
(大正7年)



第1回札幌雪まつり会場 大通公園 (昭和25年)

③ 現代 冬季オリンピックの開催～現在

昭和45年
1970年

人口が100万人を超える

昭和47年
1972年

冬季オリンピックが開催

同年

政令指定都市に移行

平成17年
2005年

モエレ沼公園がオープン

令和4年
2022年

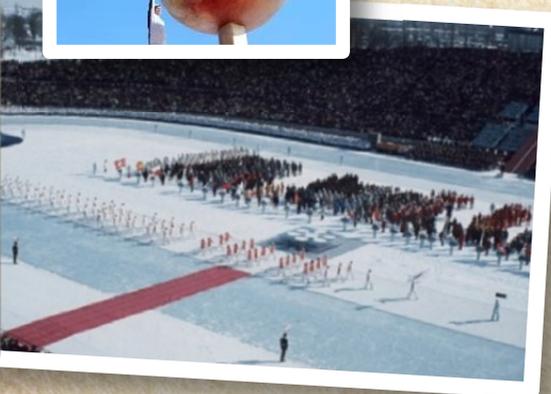
8月1日 市制100周年



昭和46年南北線開業



モエレ沼公園



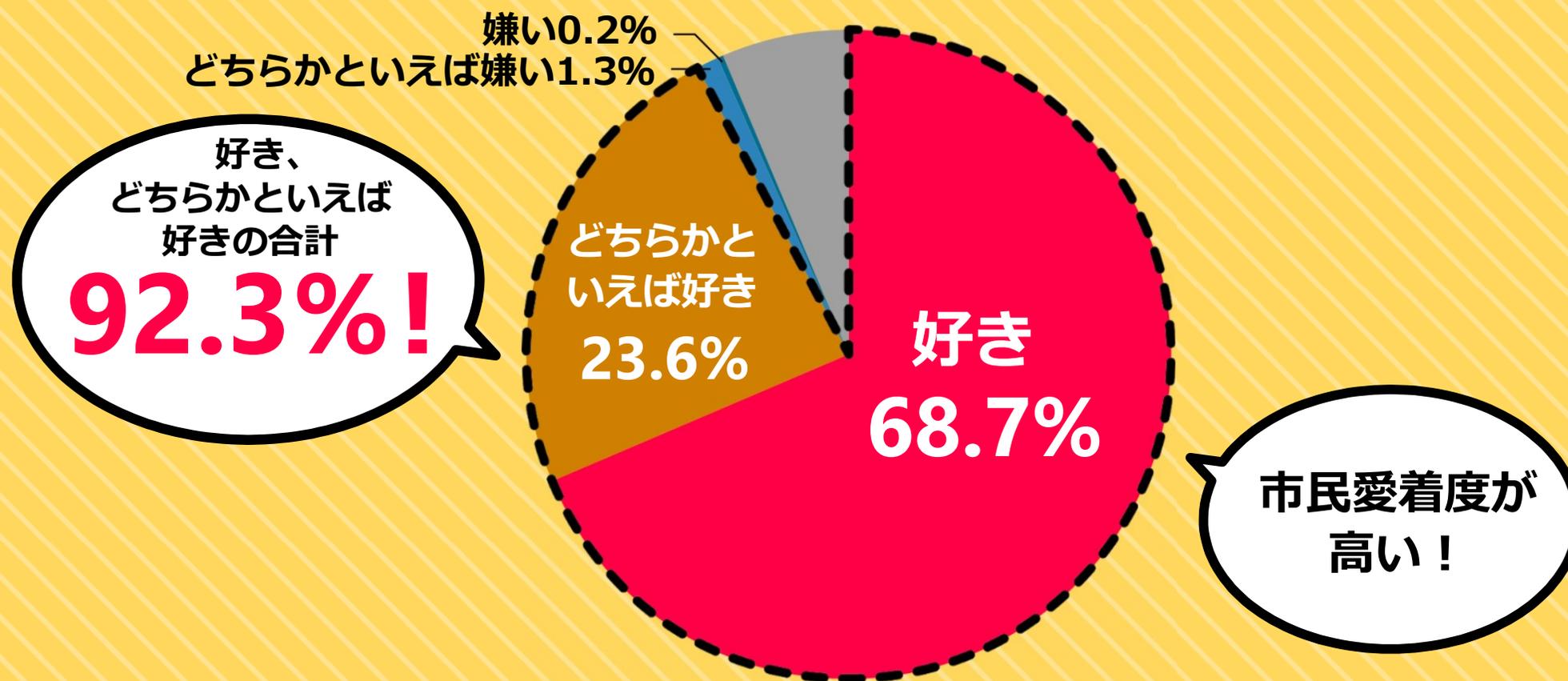
昭和47年冬季オリンピック

札幌市の魅力・特徴



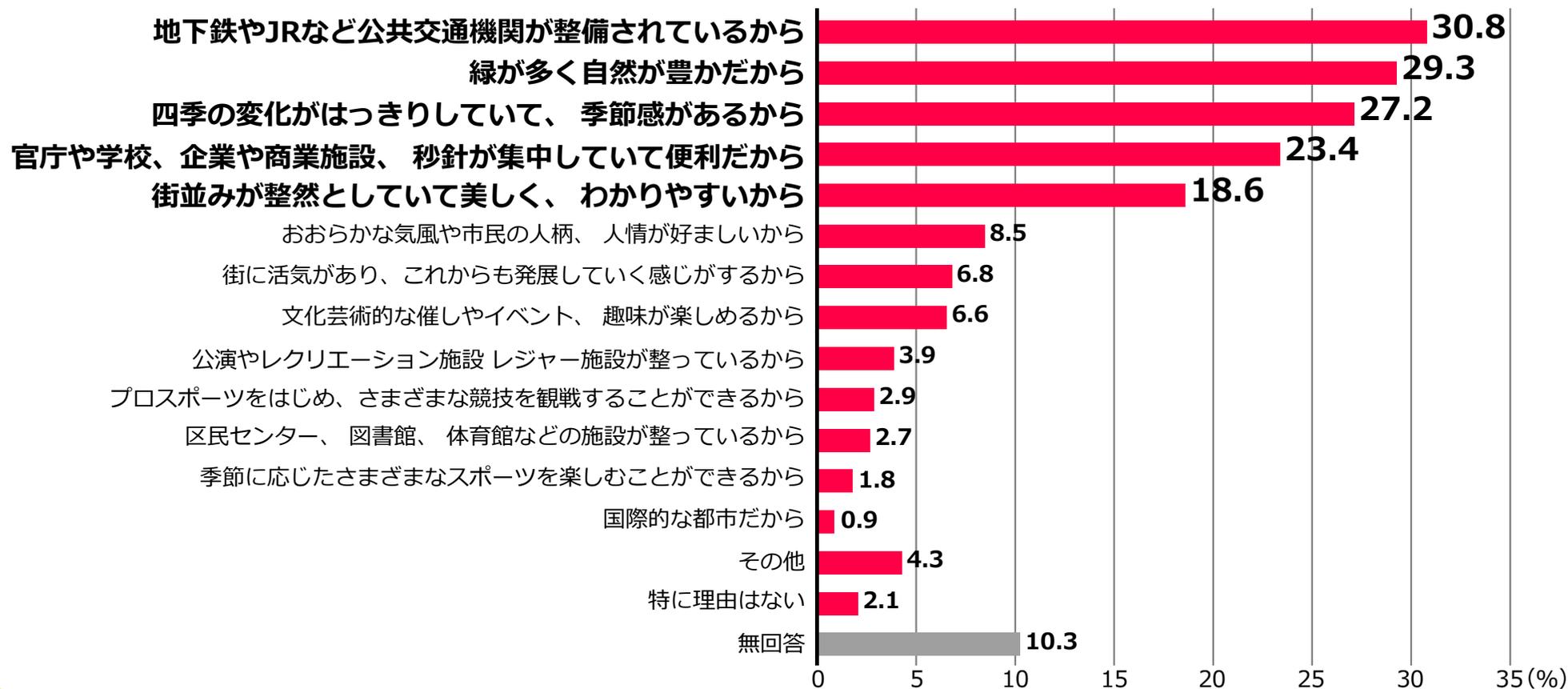
札幌の街に対する愛着度

あなたは札幌のまちが好きですか？



<資料>札幌市 令和3年度(2021年度)市民意識調査より

札幌が好きな理由 どんなところが好きですか？



<資料>札幌市 令和3年度(2021年度)市民意識調査より

充実!

札幌に集積する都市機能

整備された
公共交通
ネットワーク

大学など
研究機関

医療機関

ICT
関連企業

都心から近い
ウィンター
スポーツ
環境

身近な
文化芸術



特に！

豊かな自然環境

みどり豊かな自然

- ・豊平川を始めとする多くの河川。
- ・市街地周辺の豊かなみどり。

変化に富んだ気候

- ・四季の変化が鮮明。
- ・人口100万人以上の大都市で唯一年間5mもの降雪量。



年間を通じた
多彩な
イベント

高い!

観光満足度

交通
アクセスの
利便性の高さ

食や
ショッピング
等の都市観光に
強み



主なイベントの来場者数 (万人)

イベント	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
さっぽろライラックまつり	70	69	68	69	中止	—
YOSAKOIソーラン祭り	205	189	192	211	中止	中止
さっぽろ夏まつり	201	188	183	200	中止	—
さっぽろオータムフェスト	237	203	172	234	—	—
さっぽろ雪まつり	264	254	273	202	—	—

高い!

都市としてのブランドイメージ

民間調査機関による
市区町村
魅力度ランキングで1位!

全国的に高い評価!

地域ブランド調査2022の結果

	1位	2位	3位	4位	5位
魅力度	札幌市	京都市	函館市	横浜市	小樽市
居留意欲度	横浜市	神戸市	札幌市	京都市	鎌倉市
観光意欲度	札幌市	函館市	京都市	小樽市	横浜市

<資料> (株)ブランド総合研究所

快適！

住みやすいまち 札幌

関東圏等と比べて、
ゆとりある都市生活が可能

- ・通勤、通学時間が短い。
- ・家賃やオフィス賃料が安価。

都道府県庁所在地別「住みよい街」

順位	自治体名（都道府県名）
1	福岡市（福岡県）
2	札幌市（北海道）
3	熊本市（熊本県）
4	新宿区（東京都）
5	横浜市（神奈川県） 金沢市（石川県） 神戸市（兵庫県）

<資料> 日経B P総合研究所

起業支援！

スタートアップ・エコシステム⁽¹⁾



startup city
sapporo



多くのスタートアップ⁽²⁾を生み出し
新たな産業を創出することを目的に、
スタートアップに対する
多様な取組を展開。

2020年7月に
「スタートアップ・エコシステム
拠点都市」に選定。

(1) 起業家、企業支援者、企業、大学、金融機関、公的機関などが結びつき、スタートアップを次々と生み出し、それがまた優れた人材・技術・資金を呼び込み、発展を続けることを生体系になぞらえたもの。

(2) 社会課題等を解決するため、革新的なアイデアや技術などを基に、新しい形態のサービスやビジネスを展開する企業のうち、社会に影響が与えることが期待でき、短期間で急成長を志向するもの。

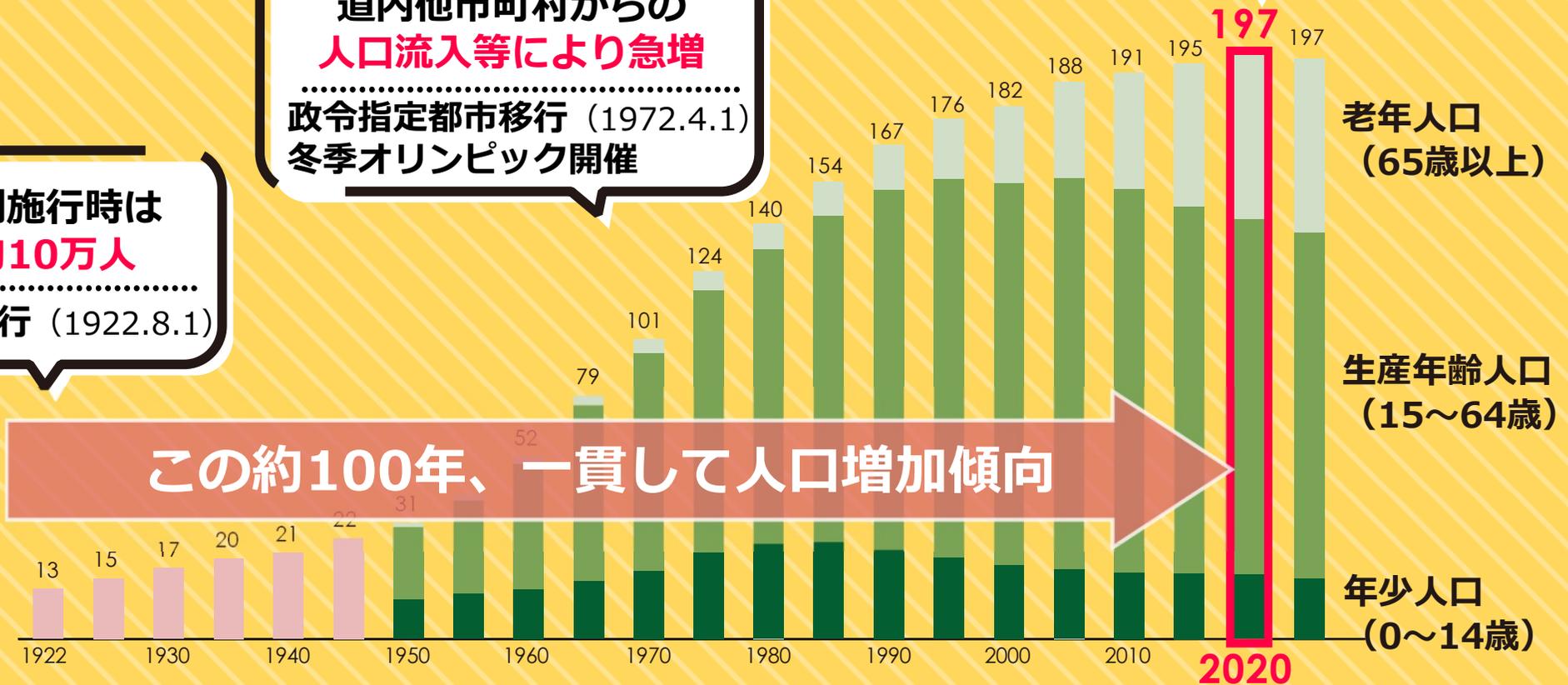
札幌市の人口

人口総数の移り変わり (単位:万人)

現在は
約197万人
.....
市制施行100周年
(2022.8.1)

道内他市町村からの
人口流入等により急増
.....
政令指定都市移行 (1972.4.1)
冬季オリンピック開催

市制施行時は
約10万人
.....
市制施行 (1922.8.1)

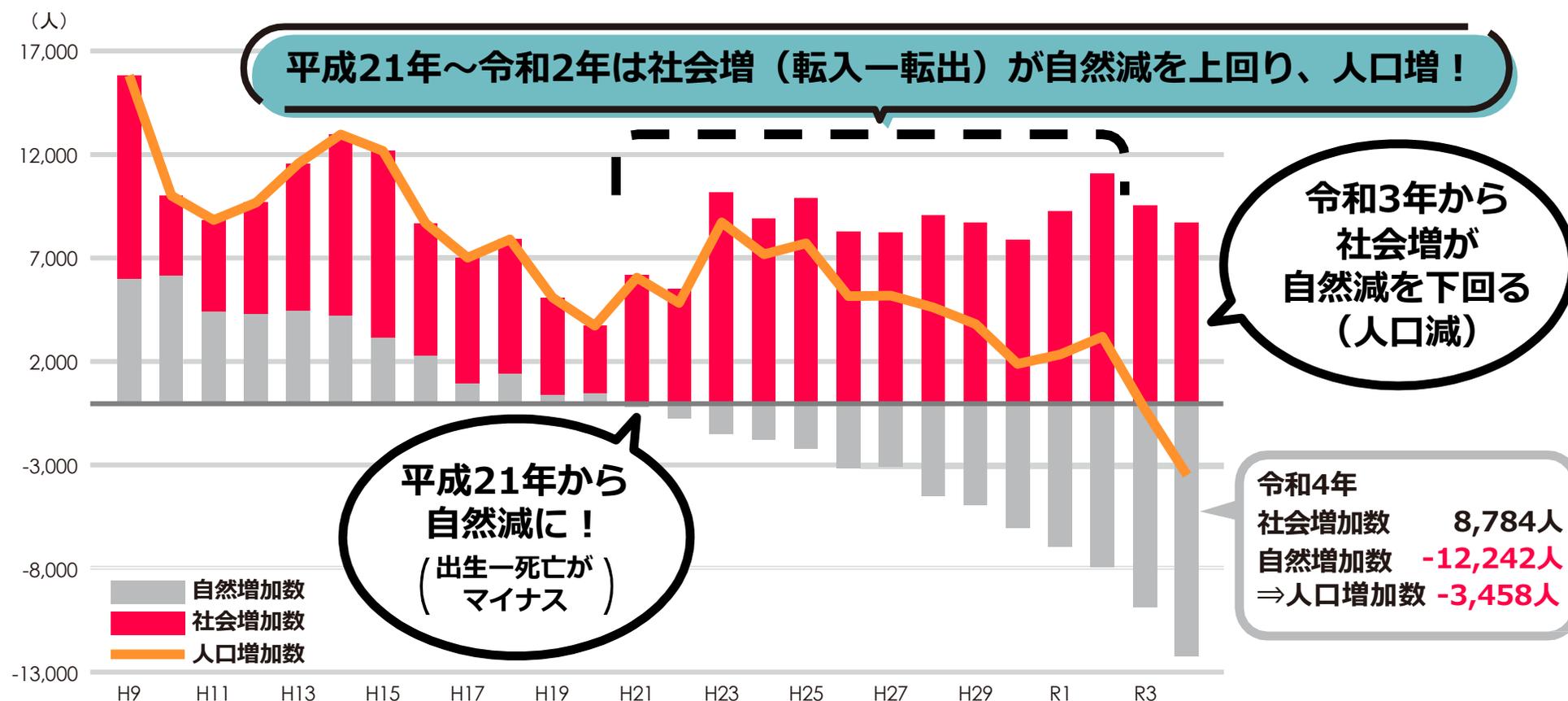


この約100年、一貫して人口増加傾向

※現在の市域に組替えた人口 ※2025年度以降は推計人口

だったのですが...

札幌市は人口減少に転じています。



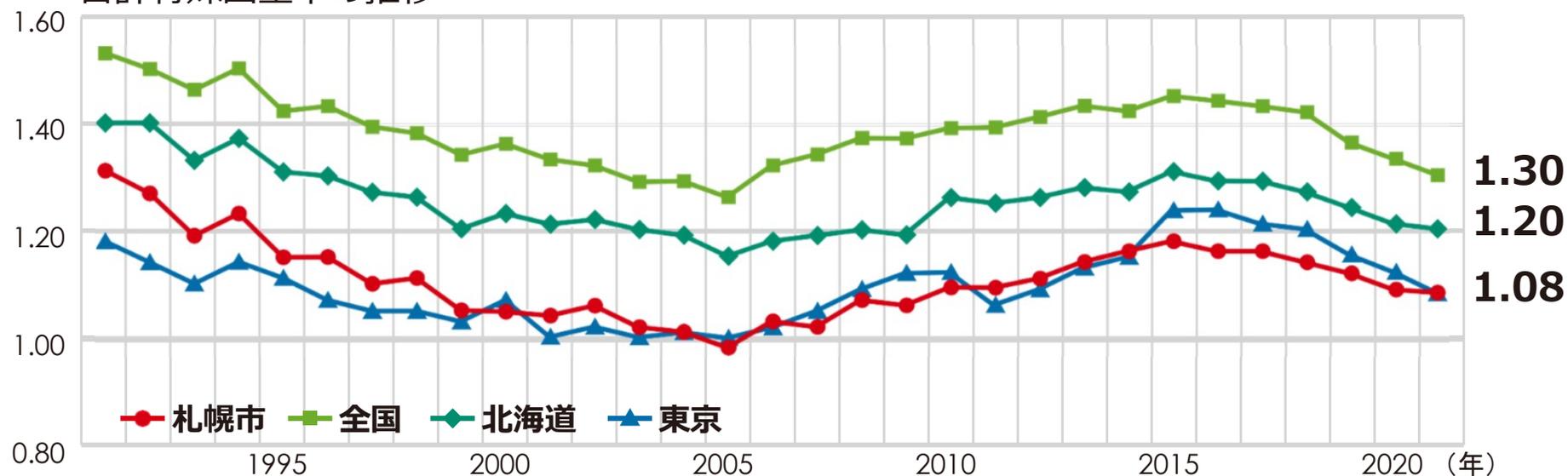
なぜ人口の自然減が起こっているのか？の考察

合計特殊出生率の低さが要因の一つと考えられます。

合計特殊出生率 = 1人の女性が一生の間に産む子供の数

全国平均1.30に対して、札幌市は1.08（令和3年度）。
原因は①高い未婚率、②夫婦間の出産数の少なさ など。

合計特殊出生率の推移

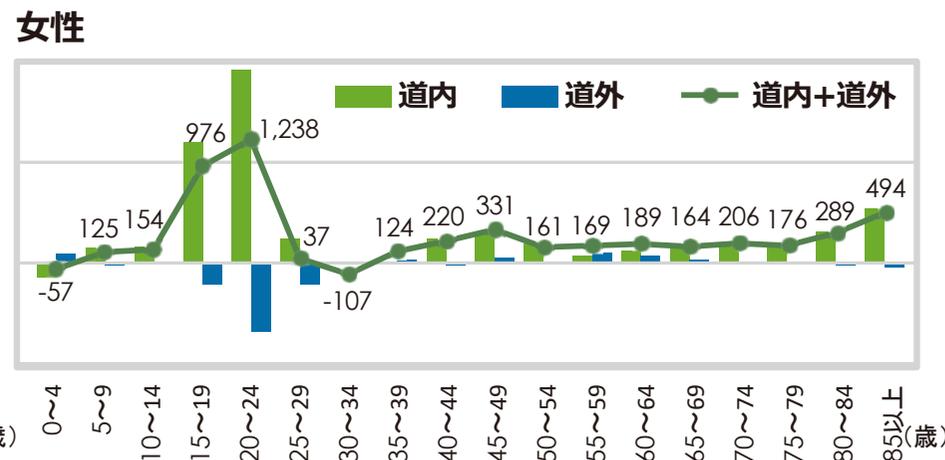
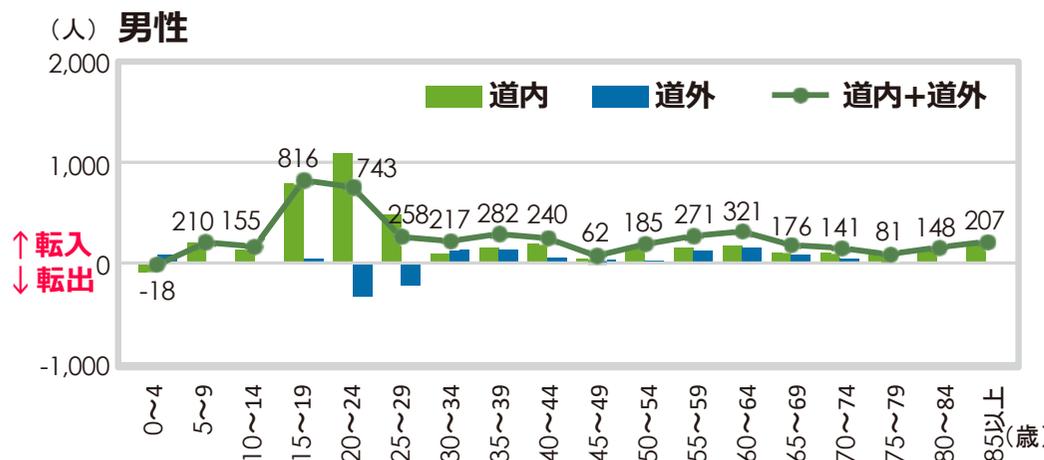


近年の社会増減の考察

20代若者の道外への転出が突出しています。
年齢階層別の札幌市への転入超過数による比較

人口移動は道内からは転入超過、道外へは転出超過傾向にあります。
他の年代よりも、20代の道外に対する転出超過が大きい。
この年代は、就職で道外へ転出する人が多いと考えられます。

男女別、道内・道外、年齢（5階級）別転入超過数



昨今の社会経済情勢



価値観やライフスタイルの多様化

札幌市では、年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、互いの個性や多様性を認め合い、誰もが生きがいと誇りを持ち、格差なく安心して暮らすことができる、

共生社会の実現を目指してきました。



これからは

互いの個性や多様性を認め合うだけでなく

双方向に支え合う
視点が重要

心のバリアフリーを推進し、
さまざまな課題に対応



人生100年時代の到来

これまでの「教育・仕事・老後」という三つのライフステージではなく、「学び直し」を含む、学習や就業の機会などが、生涯にわたって充実した人生を可能にする社会の実現を目指していく必要があります。

生涯学習や
多様な就労

多様な人生を
可能にする
社会

健康的な
運動習慣
づくり



デジタル技術の急速な進歩

国では、急速に進化しているデジタル技術を地方から実装し、新たな変革の波を起こすことにより、地方と都市の差を縮め、地方の活性化を進めることとしています。

経済成長の
原動力となる
デジタル分野

スマートシティ
の推進

デジタル
トランス
フォーメーション
(DX)の実現

気候変動などに伴う 地球規模での環境保全の動き

近年、温室効果ガス排出量の増加に伴う平均気温の上昇や降水量の変化などの気候変動による災害が世界各地で頻発しています。

ESG投資^(※)
の注目

再生可能
エネルギーへの
転換

持続可能な
脱炭素社会の
形成

※環境 (Environment) ・社会 (Social) ・企業統治 (Governance) への配慮を重視する投資

都市のリニューアル

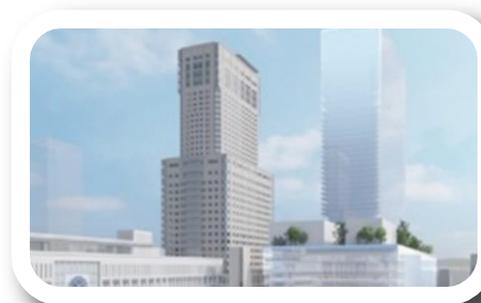
昭和47年（1972年）の札幌オリンピック開催を契機に集中的に整備した公共施設等が、約50年が経過して老朽化が進行しています。



2030年度末に
北海道新幹線の札幌延伸
～開業予定

今後のまちづくりには、
公園などの
パブリックスペースも重要

これらに合わせ、
民間開発が活発化↓
都市のリニューアルへ



頻発する自然災害

平成30年（2018年）に発生した「北海道胆振東部地震」を始めとして、近年、北海道においても自然災害が頻発し各地域で大きな被害が生じています。



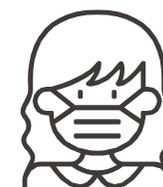
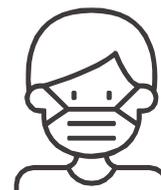
被災のリスクについて
誰もが正しい認識を持つ

人命を守り、被害や影響を
最小限に抑える

レジリエンス
(自己回復力・強靱性)
の向上

新型コロナウイルス感染症の感染拡大

令和2年(2020年)に国内で初めて感染が確認された新型コロナウイルス感染症は、札幌市においても感染が拡大し、日常生活や社会経済活動に大きな影響を及ぼしました。



**感染拡大時は
孤立による不安や
健康上の問題が懸念**

**日常生活や
社会経済活動への
影響を抑えながら、
感染拡大のリスクを低減**

**足腰の強い
産業構造の実現**

今後のまちづくりの方向性

—第2次札幌市まちづくり戦略ビジョンについて—

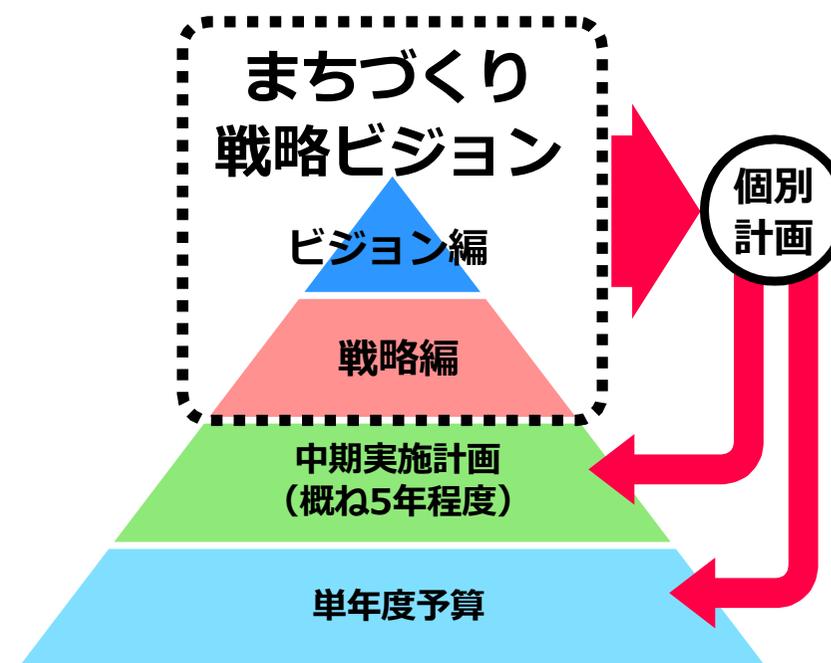
札幌市まちづくり戦略ビジョンとは

札幌市まちづくり戦略ビジョンは
札幌市のまちづくりの計画体系では
最上位の「総合計画」

様々な個別計画は
戦略ビジョンの方向性に沿って策定

札幌市のまちづくりの
基本的な指針

札幌市のまちづくり計画体系



札幌市まちづくり戦略ビジョンとは

(第1次)
札幌市まちづくり戦略ビジョン
2013年～2022年 (終了)

次のステップへ

第2次札幌市まちづくり
戦略ビジョン
2022年～2031年



第2次まちづくり戦略ビジョンの構成

「ビジョン編」と「戦略編」の二部構成

ビジョン編

2022年10月 策定

「目指すべき都市像」

市民、企業、行政の皆が目指す
札幌市の将来の姿

「まちづくりの基本目標」

都市像の実現に向けた政策の
基本的な方向性

戦略編

2023年10月 策定

ビジョン編に掲げる

「まちづくりの基本目標」

の達成に向けて、
札幌市が取り組むことを設定

「目指すべき都市像」と、その実現に向けた 「まちづくりの基本目標」について



札幌市の現在と未来に関する考察のまとめ（前半のおさらい）

歴史

多様性や外国の先進の英知を受け入れてきた風土

魅力・特徴

年間5mもの雪が降る大都市

高い都市機能を集約しつつ、豊かな緑を保持

人口

これまで増加を続けていた人口が減少局面を迎えている

社会経済情勢

価値観やライフスタイルの多様化、人生100年時代

自然災害や感染症等の危機 …等

人口減少の緩和を進めることはもとより、人口構造を始めとする様々な変化に大きな影響を受けず、**その変化を積極的に生かし持続的に成長していくことが必要**

「目指すべき都市像」へ

ここで質問です！

**あなたが考える札幌の理想の形は
どんな形ですか？
どのようなまちにしたいですか？**

「目指すべき都市像」とは…

札幌市の特徴である **ゆき** や **みどり** といった
自然の恵みが守られ、生かされた中で、
あらゆる世代の多様な **ひと** が交わり
新しい時代にふさわしい真に豊かな暮らしを創ること、
様々な分野において新たな価値を生み出すことで、
「世界をリードする持続可能な都市」を目指す

札幌らしさを出して、市民の共感を呼び込める魅力あるフレーズに！

「目指すべき都市像」をワンフレーズに

目指すべき都市像

ひと **ゆき** **みどり** の織りなす輝きが、
豊かな暮らしと新たな価値を創る、
持続可能な世界都市・さっぽろ

第2次戦略ビジョン「ビジョン編」の基本的な構成

＜目指すべき都市像＞の実現に向けて

ひと ゆき みどり の織りなす輝きが、豊かな暮らしと新たな価値を創る、
持続可能な世界都市・さっぽろ

まちづくりの重要概念を設定

ユニバーサル（共生）

ウェルネス（健康）

スマート（快適・先端）

まちづくりの基本目標（8分野）を設定

子ども
・若者

生活・
暮らし

地域

安全・
安心

経済

スポーツ・
文化

環境

都市空間

第2次戦略ビジョン「ビジョン編」の基本的な構成

＜目指すべき都市像＞の実現に向けて

ひと **ゆき** **みどり** の織りなす輝きが、豊かな暮らしと新たな価値を創る、
持続可能な世界都市・さっぽろ

まちづくりの重要概念を設定

ユニバーサル（共生）

ウェルネス（健康）

スマート（快適・先端）

まちづくりの基本目標（8分野）を設定

子ども
・若者

生活・
暮らし

地域

安全・
安心

経済

スポーツ・
文化

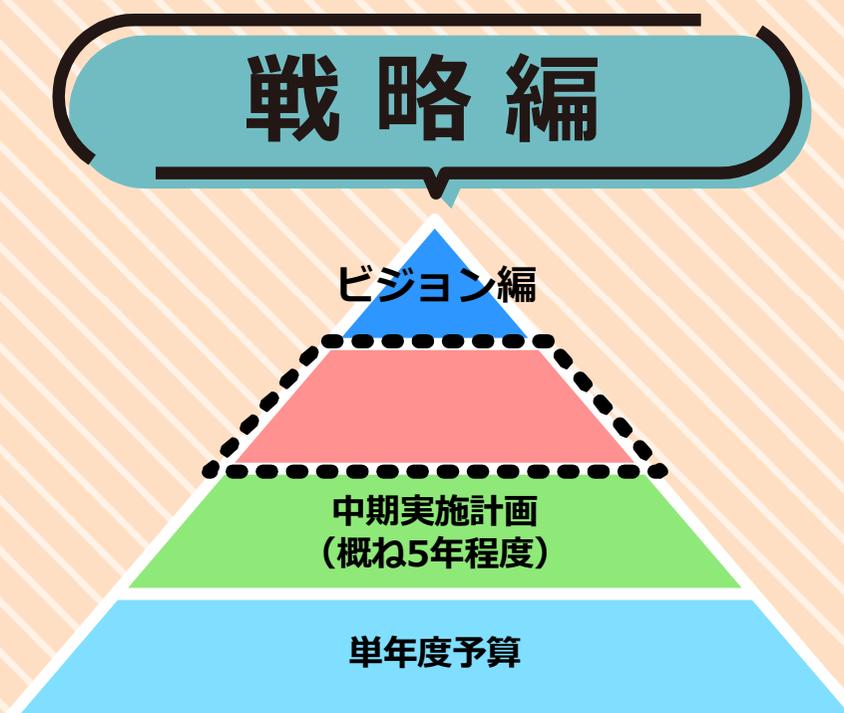
環境

都市空間

第2次戦略ビジョン「まちづくりの基本目標」について

分野	基本目標
1 子ども・若者	1 安心して子どもを産み育てることができる、子育てに優しいまち 2 誰一人取り残されずに、子どもが伸び伸びと成長し、若者が希望を持って暮らすまち 3 一人一人の良さや可能性を大切にする教育を通して、子どもが健やかに育つまち
2 生活・暮らし	4 誰もが健康的に暮らし、生涯活躍できるまち 5 生活しやすく住みよいまち
3 地域	6 互いに認め合い、支え合うまち 7 誰もがまちづくり活動に参加でき、コミュニティを育むまち
4 安全・安心	8 誰もが災害に備え、迅速に回復し、復興できるまち 9 日常の安全が保たれたまち
5 経済	10 強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち 11 多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち 12 雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち
6 スポーツ・文化	13 世界屈指のウインタースポーツシティ 14 四季を通じて誰もがスポーツを楽しめるまち 15 文化芸術が心の豊かさや創造性を育み、世界とつながるまち
7 環境	16 世界に冠たる環境都市 17 身近なみどりを守り、育て、自然と共に暮らすまち
8 都市空間	18 コンパクトで人にやさしい快適なまち 19 世界を引きつける魅力と活力あふれるまち 20 都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち

まちづくりの重要概念と それに基づくプロジェクトについて



第2次戦略ビジョン「戦略編」の構成（案）

第1章 分野横断的に取り組む施策

プロジェクト	関連する基本目標（分野）							
	子ども・若者	生活・暮らし	地域	安全・安心	経済	スポーツ・文化	環境	都市空間
ユニバーサル（共生）プロジェクト	○	○	○	○		○		○
ウェルネス（健康）プロジェクト	○	○	○		○	○	○	○
スマート（快適・先端）プロジェクト1	○	○		○	○			○
スマート（快適・先端）プロジェクト2		○		○	○	○	○	○
人口減少緩和プロジェクト	○	○			○			

第2章 まちづくりの基本目標ごとの施策

子ども・若者 生活・暮らし 地域 安全・安心 経済 スポーツ・文化 環境 都市空間

第3章 行財政運営の方向性

行政運営 財政運営 北海道と共に発展する札幌市

第2次戦略ビジョン「戦略編」の構成（案）

第1章 分野横断的に取り組む施策

プロジェクト	関連する基本目標（分野）							
	子ども・若者	生活・暮らし	地域	安全・安心	経済	スポーツ・文化	環境	都市空間
ユニバーサル（共生）プロジェクト	○	○	○	○		○		○
ウェルネス（健康）プロジェクト	○	○	○		○	○	○	○
スマート（快適・先端）プロジェクト1	○	○		○	○			○
スマート（快適・先端）プロジェクト2		○		○	○	○	○	○
人口減少緩和プロジェクト	○	○			○			

第2章 まちづくりの基本目標ごとの施策

子ども・若者 生活・暮らし 地域 安全・安心 経済 スポーツ・文化 環境 都市空間

第3章 行財政運営の方向性

行政運営 財政運営 北海道と共に発展する札幌市

「戦略編」分野横断的に取り組む施策プロジェクトについて

ユニバーサル(共生)

「誰もが互いにその個性や能力を認め合い、多様性が強みとなる社会」の実現。
支える人と支えられる人という一方向の関係性を超え、双方向に支え合うこと。

＜プロジェクトの三本柱＞

- ①誰もが円滑に移動することができ、快適に利用できる
施設などの整備 ～移動経路・建築物～
- ②当事者への支援と情報発信の充実 ～制度・情報～
- ③心のバリアフリーの浸透と誰もが活躍できる環境の整備
～意識～

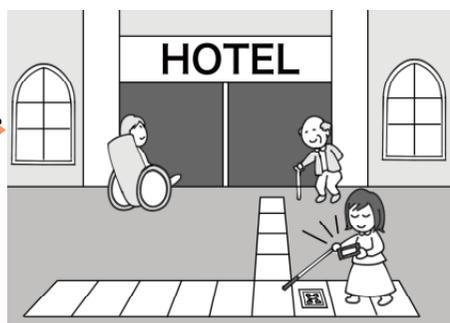


10年度、こんな札幌を目指します！

ユニバーサル（共生）

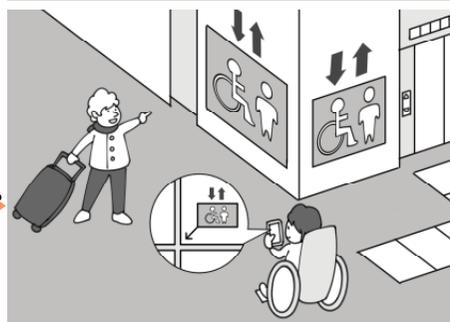
バリアのない すべての人が暮らしやすいまちへ

道路や入口に段差がなくて、お年寄りや車いすの人も入りやすい！



どの季節でも快適に乗り継ぎできる環境の整備が進んでいる！

わかりやすい案内サインでエレベーターの場所がすぐわかる！



みんなが年齢や国籍、障がいの有無などの違いを理解し、支え合っている！

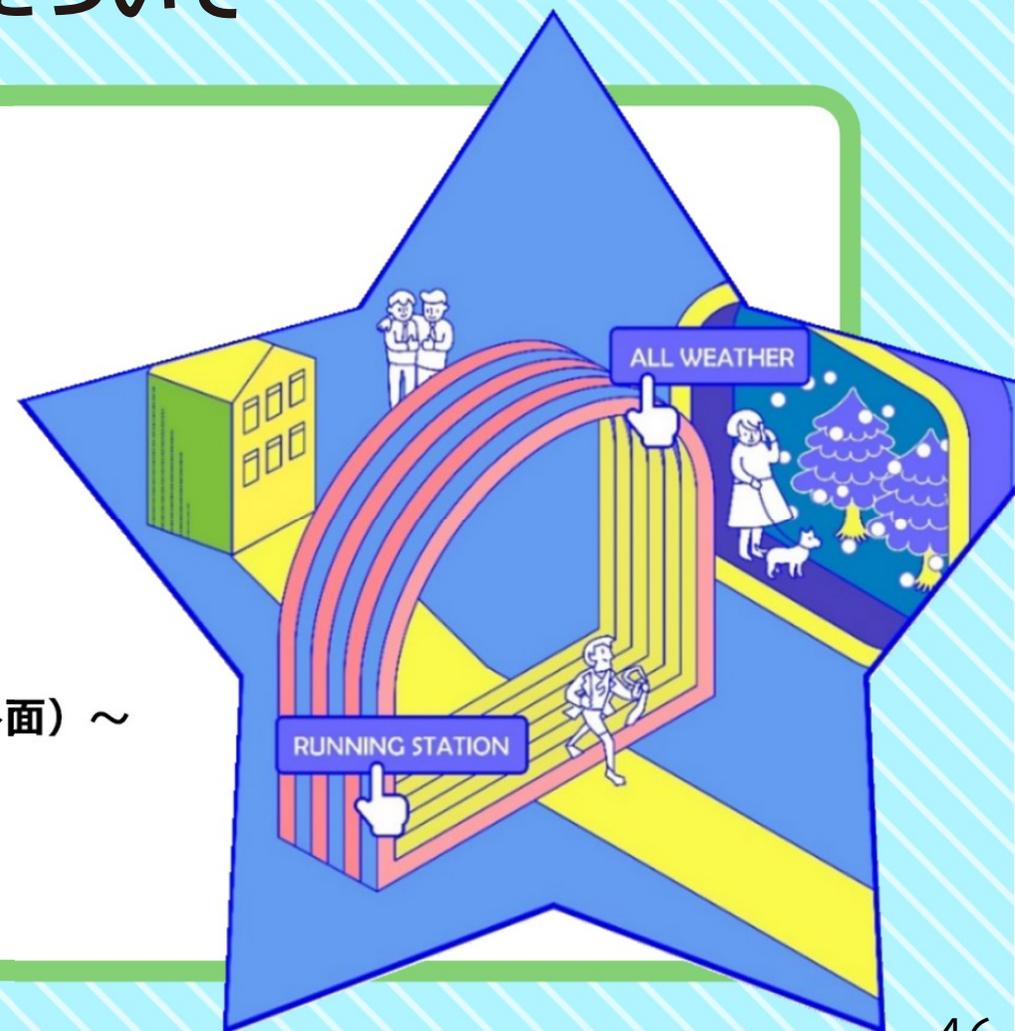
「戦略編」分野横断的に取り組む施策プロジェクトについて

ウェルネス（健康）

「誰もが生涯健康で、学び、自分らしく活躍できる社会」の実現。
身体的・精神的・社会的に健康であること。

＜プロジェクトの三本柱＞

- ①健康行動の促進 ～身体的な健康（ソフト面）～
- ②ウォーカブルシティの推進 ～身体的な健康（ハード面）～
- ③人生100年時代の学びと社会参加の促進
～精神的・社会的な健康～



10年度、こんな札幌を目指します！

ウェルネス（健康）

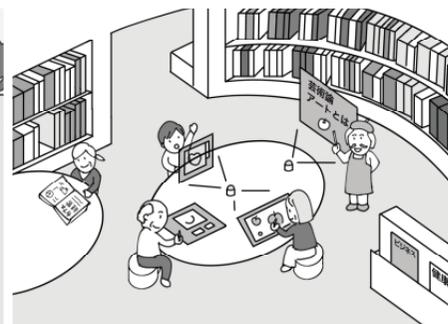
身体も心も健康に 人とつながれるまちへ

地上も地下も
快適にまち歩きが
楽しめる！



ランニングやスキー
など、季節に合った
運動ができる！

近所の公園や
広場で気軽に
体を動かせる！



いくつになっても
興味のあることを
学び、学んだことを
活かして社会で
活躍できる！

「戦略編」分野横断的に取り組む施策プロジェクトについて

スマート（快適・先端）

誰もが先端技術などにより快適に暮らし、新たな価値の創出に挑戦できる社会」の実現。先端技術の活用などを通じて、まちの魅力・快適性を高めていること。

<プロジェクトの三本柱>

プロジェクト1

- ①行政のデジタル改革
- ②地域社会のデジタル改革
- ③人材育成・産業競争力の強化

プロジェクト2

- ①ゼロカーボンの推進
- ②雪との暮らし（共生）
- ③雪の利活用

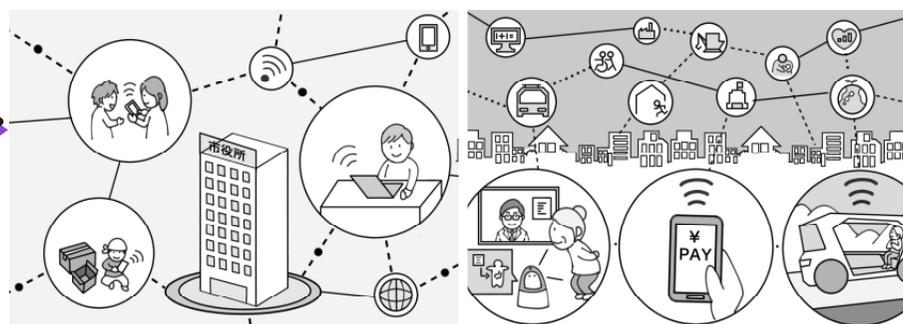


10年度、こんな札幌を目指します！

スマート(快適・先端)

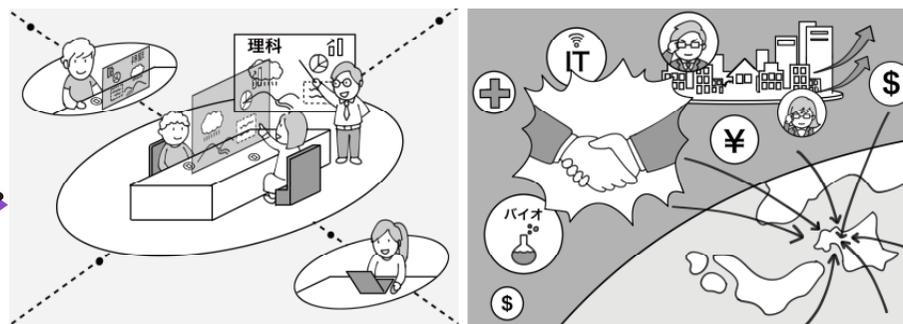
デジタル技術を活かしたまちへ

役所へのいろいろな
手続きが
オンラインで
できる！



オンライン診療や
自動運転などにより、
暮らしがますます
便利になっていく！

先端技術を
効果的に活用した
授業が受けられる！



ITやバイオ産業など
の分野が成長し、
世界中から
注目されるまちに！

10年度、こんな札幌を目指します！

スマート(快適・先端)

環境にやさしく

雪と共に暮らすまちへ

エネルギーを上手に使って省エネでも快適な生活ができる！

先端技術の活用で、除排雪作業の効率化などが進む！



北海道にたくさんある再生可能エネルギーを使っていく！

まちの観光も、パウダースノーのスキー場もたっぷり楽しめる観光地として、冬にもたくさんの人が訪れている！

「戦略編」分野横断的に取り組む施策プロジェクトについて

人口減少緩和

結婚や出産を望む市民の希望を実現するとともに、住み続けたいとなる取組の推進。

<プロジェクトの三本柱>

- ①質の高い雇用創出と魅力的な都市づくり
- ②結婚・出産・子育てを支える環境づくり
- ③若い世代へ向けたアプローチの強化



10年度、こんな札幌を目指します！

人口減少緩和

ビジネスや
観光地が活性化して、
まちの魅力が
高まっている！

社会全体で
子育てする気持ちを
みんなが
持っている！

子どもを生み育てやすい 住み続けたい魅力的なまちへ



学生たちが
自分たちの将来
(結婚・仕事・
子育てなど)に
ついて
話し合っている！